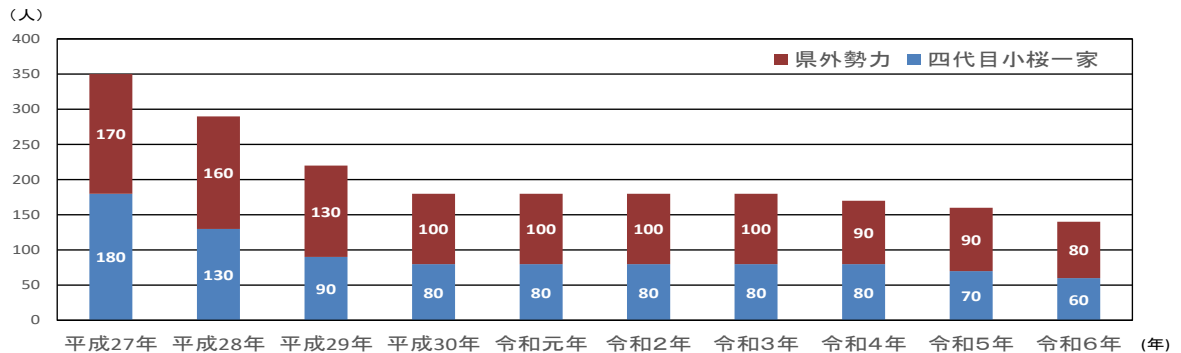


1 暴力団勢力の推移

暴力団勢力：約350人（平成27年）→ 約140人（60.0%減少）

うち四代目小桜一家：約180人（平成27年）→ 約60人（66.7%減少）

うち県外勢力：約170人（平成27年）→ 約80人（52.9%減少）



2 暴力団勢力数

		令和5年末		令和6年末		前年比
県内暴力団勢力数		約160人		約140人		-20
内 訳	四代目小桜一家	約70人		約60人		-10
	六代目山口組	約90人	約50人	約80人	約40人	-10
	神戸山口組		約10人		約10人	0
	絆會		約10人		約10人	0
	その他の団体		約20人		約20人	0

※ 数値はいずれも概数である。

※ 暴力団勢力とは、暴力団構成員及び準構成員（暴力団又は暴力団員の一定の統制下にあつて、暴力団の威力を背景に暴力的不法行為を行うおそれがある者又は暴力団若しくは暴力団員に対し資金、武器等の供給を行うなど暴力団の維持若しくは運営に協力する者のうち暴力団員以外の者）等をいう。

3 勢力変化の特徴

- 本県内の暴力団勢力は、10年前の平成27年と比較すると、約210人減少している。
- 平成27年と比較して四代目小桜一家は約120人、県外勢力は約90人減少している。
- 令和5年と比較した場合、四代目小桜一家は約10人減少し、六代目山口組等の県外勢力も約10人減少している。